

# 令和7年「落花生」生育情報 (第4報)

令和7年11月11日  
千葉県農林水産部  
生産振興課

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育情報を提供するものです。  
調査地点で収穫状況をまとめたものであり、県内全域の収量を保証するものではありません。

## 1 令和7年産落花生の作柄

### 1) 生育概況

各調査ほ場の収穫調査の結果は、表2及び表3のとおりです。

本年の気象概況について、平均気温はほとんど全期間で平年を上回って推移しました。降水量は7月上旬・下旬と8月中下旬、9月下旬以降に平年を下回りましたが、7月中旬、8月上旬、9月上旬は台風の影響により平年を上回りました。

生育状況については、生育初期の高温により、開花期が平年よりも早く、収穫期は平年並みからやや早まりました。また、8月から9月にかけて高温多湿条件で、一部ほ場で褐斑病や白絹病の発生がみられました。乾燥さや実重は落花生研究室ほ場（表3）では、平年並みからやや多くなりましたが、作況調査ほ（表2）では、干ばつの影響を受けやすい条件のほ場において、土壌の乾燥により少なくなりました。

開花期後35～50日の時期に干ばつの影響を受けたほ場では、幼芽褐変症の発生が平年よりも多く見られました。

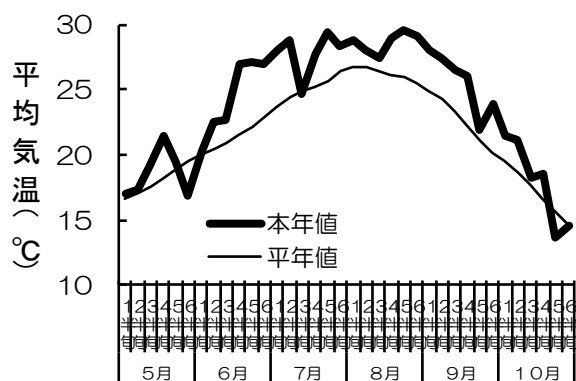


図1 気温の推移（アメダス、佐倉）

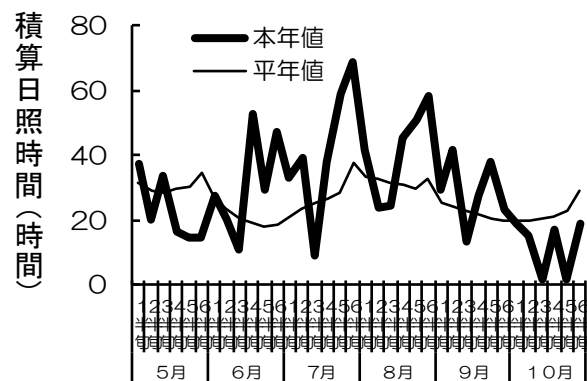


図2 日照時間の推移（アメダス、佐倉）

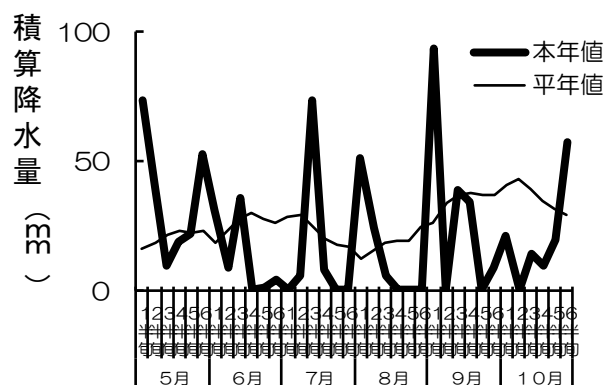


図3 降水量の推移（アメダス、佐倉）

## 2) 収穫後の乾燥状況

本年は、9月上中旬の雨により収穫時期が早いほ場では、収穫作業の遅れや地干しによる乾燥に影響がありましたが、9月下旬～10月上旬にかけて、平年より降雨が少なくなりました。地干し後の野積み（ぼっち積み）は比較的順調に進んでいると思われますが、カビの発生等の品質低下には注意してください。「落花生」生育情報（第3報）に記載のとおり、適切な乾燥方法を実施するように努めましょう。

### 〔落花生生育情報（第3報）抜粋〕野積み（ぼっち）とトンネル乾燥の使い分け

地干し後の乾燥方法は、収穫時期によって野積み（ぼっち）とトンネル乾燥を使い分けると効果的です。9月は、気温が高く、カビ等による品質の低下を防ぐため、トンネル乾燥を、10月以降は、外気温が低下し、トンネル内に結露が発生して乾燥しにくくなるため野積みを推奨します。

| 収穫時期         | 9月 |    |    | 10月 |              |    |
|--------------|----|----|----|-----|--------------|----|
|              | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬  | 中旬           | 下旬 |
| 降雨時のカビ発生リスク  | 大  |    | 中  | 小   |              |    |
| トンネル乾燥での乾燥速度 | 早  |    | 中  |     | 遅<br>(朝露が原因) |    |
| トンネル乾燥適期     |    |    |    |     |              |    |
| ぼっち乾燥適期      |    |    |    |     |              |    |

## 2 来年の栽培に向けて、優良種子を準備しましょう

開花期後35日～50日頃に干ばつに遭遇した場合、幼芽褐変が多く発生します。本年は、適期にかん水できず、干ばつの影響を受けたほ場では幼芽褐変症の発生が見られました。（表1）

次の写真1のような幼芽褐変が見られる場合は、出芽率が低下することがありますので、次年度の落花生栽培に向けて、種子に幼芽褐変がないか早めに確認しましょう。種子を割り、10粒中1粒でも中度～重度の障害がある場合は、見かけがよくてもこのほ場の種子は使用しないようにしましょう。軽度の幼芽褐変が見られる場合は、種子を多めに確保してください。

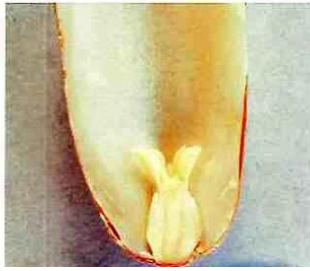
また、選別の際に異型莢を除去して優良種子の確保に努めましょう。

表1 調査ほ場における幼芽褐変（中・重度）の発生率（%）

|      | 千葉半立 | ナカテユタカ | Qなつつ | おおまさりネオ |
|------|------|--------|------|---------|
| 令和7年 | 7.0  | 7.3    | 1.3  | 11.3    |
| 平年値  | 3.2  | 2.8    | 2.0  | 3.0     |

\*発生率は、中度及び重度の合計から算出。平年値はH30年からR6年（過去7年間）の調査データから最大・最小を除く5か年の平均。ただし、「おおまさりネオ」はR3～R6年の平均値。

## 写真 1 幼芽褐変症の程度別症状



健全種子



幼芽褐変 軽度  
本葉が褐変  
出芽率 9 割



幼芽褐変 中度  
胚軸上部が褐変  
出芽率 6 割



幼芽褐変 重度  
本葉全部と胚軸上部が褐変  
出芽率 1 割

## 3 定期的に種子の更新をしましょう

品種の特性を維持するには、種子更新が必要です。3～4年に1回程度の定期的、計画的な更新に努めましょう。

表 2 落花生収穫時調査結果（調査用のサンプルは、収穫後、乾燥機で通風乾燥させた）

| 品 種 名       | 年次 | は種日  | 開花期  | 収穫日  | さや実数<br>(個/㎡) | 乾燥<br>さや実重<br>(g/㎡) | 上さや重<br>(g/㎡) | 全粒重<br>(g/㎡) | 上実重<br>(g/㎡)  | むき実<br>歩合<br>(%) | 上中実<br>百粒重<br>(g) |
|-------------|----|------|------|------|---------------|---------------------|---------------|--------------|---------------|------------------|-------------------|
| 千葉半立        | 本年 | 6/3  | 7/6  | 10/3 | 217           | 331                 | 204           | 214          | 156           | 65               | 83                |
|             | 平年 | 5/30 | 7/8  | 10/5 | 219<br>(99%)  | 341<br>(97%)        | 246<br>(83%)  | 227<br>(94%) | 155<br>(101%) | 67               | 79                |
| ナカテユタカ      | 本年 | 5/19 | 6/24 | 9/10 | 229           | 406                 | 303           | 292          | 245           | 71               | 96                |
|             | 平年 | 5/22 | 6/30 | 9/14 | 230<br>(99%)  | 419<br>(97%)        | 319<br>(95%)  | 300<br>(97%) | 244<br>(101%) | 72               | 88                |
| Qなつつ        | 本年 | 6/5  | 7/7  | 9/18 | 212           | 387                 | 268           | 276          | 210           | 70               | 78                |
|             | 平年 | 5/31 | 7/6  | 9/22 | 217<br>(97%)  | 410<br>(94%)        | 328<br>(82%)  | 290<br>(95%) | 232<br>(90%)  | 70               | 83                |
| おおまさり<br>ネオ | 本年 | 5/14 | 6/24 | 9/23 | 166           | 347                 | 176           | 203          | 128           | 57               | 114               |
|             | 平年 | 5/23 | 7/2  | 9/23 | 147<br>(113%) | 361<br>(96%)        | 246<br>(72%)  | 229<br>(89%) | 168<br>(76%)  | 63               | 109               |

\* 本年値は、各調査地点の平均値。「千葉半立」は千葉・印旛・香取・山武地区、「ナカテユタカ」は千葉・海匝・長生地区、「Qなつつ」は印旛・香取・長生地区、「おおまさりネオ」は千葉・印旛・君津地区。

\* 平年値は、ほ場変更等がない限りは過去7年間（「千葉半立」、「ナカテユタカ」、「Qなつつ」）の調査データから最大・最小を除く平均。ただし、「おおまさりネオ」は過去4年間の平均値。

\* カッコ内は平年値に対する比。ラウンド処理をした値。

\* 上さやは2粒さや2 g以上、1粒さや1 g以上のさや（おおまさりネオは2粒さや3 g以上、1粒さや1.5 g以上のさや）

\* 上実は0.7 g以上、中実は0.4 g以上0.7 g未満の子実（おおまさりネオの上実は0.9 g以上、中実は0.6 g以上0.9 g未満の子実）

表3 落花生研究室（八街市）の落花生収穫時調査結果

（調査用のサンプルは、収穫後、乾燥機で通風乾燥させた）

|   | 品 種 名   | は種日  | 開花期  | 収穫日   | さや実数<br>(個/㎡) | 乾燥<br>さや実重<br>(g/㎡) | 上さや重<br>(g/㎡) | 全粒重<br>(g/㎡)  | 上実重<br>(g/㎡)  | むき実<br>歩合<br>(%) | 上中実<br>百粒重<br>(g) |
|---|---------|------|------|-------|---------------|---------------------|---------------|---------------|---------------|------------------|-------------------|
|   | 千葉半立    | 5/20 | 6/26 | 9/29  | 361<br>(129%) | 480<br>(110%)       | 151<br>(50%)  | 280<br>(98%)  | 145<br>(78%)  | 58               | 72                |
| 標 | ナカテユタカ  | 5/20 | 6/25 | 9/12  | 273<br>(111%) | 429<br>(109%)       | 262<br>(99%)  | 296<br>(110%) | 215<br>(110%) | 69               | 81                |
| 播 | Q なつつ   | 5/20 | 6/26 | 9/12  | 287<br>(113%) | 418<br>(105%)       | 220<br>(84%)  | 268<br>(102%) | 185<br>(105%) | 64               | 79                |
|   | おおまさりネオ | 5/20 | 6/26 | 9/24  | 236<br>(144%) | 399<br>(113%)       | 108<br>(60%)  | 204<br>(99%)  | 72<br>(57%)   | 51               | 92                |
|   | 千葉半立    | 6/9  | 7/7  | 10/10 | 367<br>(140%) | 650<br>(138%)       | 408<br>(113%) | 434<br>(133%) | 343<br>(139%) | 69               | 89                |
| 晩 | ナカテユタカ  | 6/9  | 7/5  | 9/22  | 322<br>(137%) | 548<br>(128%)       | 371<br>(110%) | 390<br>(139%) | 320<br>(131%) | 71               | 89                |
| 播 | Q なつつ   | 6/9  | 7/6  | 9/22  | 286<br>(121%) | 482<br>(114%)       | 315<br>(97%)  | 327<br>(110%) | 257<br>(110%) | 68               | 84                |
|   | おおまさりネオ | 6/9  | 7/6  | 10/3  | 227<br>(139%) | 548<br>(132%)       | 253<br>(104%) | 290<br>(110%) | 160<br>(85%)  | 53               | 101               |

\* 栽植密度は 5,128 株/10 a、無かん水条件

\* 上さやは 2 粒さや 2 g 以上、1 粒さや 1 g 以上のさや（おおまさりネオは 2 粒さや 3 g 以上、1 粒さや 1.5 g 以上のさや）

\* 上実は 0.7 g 以上、中実は 0.4 g 以上 0.7 g 未満の子実（おおまさりネオの上実は 0.9 g 以上、中実は 0.6 g 以上 0.9 g 未満の子実）

\* カッコ内は、令和 2～6 年の平均値に対する差、又は比